



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第3号
令和元年6月17日
校長 松丸 晴美

「思いやりの翼」を拡げよう

天候に恵まれ、今年の運動会も1400名を超える来校者の方々から盛大な応援を受け、無事終えることができました。

全力で競技や演技に取り組み、運営に力を尽くした生徒たちの感想の多くは、練習期間を含め、自分自身が努力できたことやクラスの仲間と協力して取り組めたことに対する達成感や満足感がたくさんちりばめられた言葉で綴られていました。

保護者の方々からもたくさん感想や要望をいただきました。来年度の改善点の参考にさせていただきたいと思います。

先日、運動会の振り返りの時間に、「マスゲーム・ダンス」の校舎から撮影したビデオを全校生徒で鑑賞しました。学年毎のビデオ放映が終わる度に、生徒の間から自然に大きな拍手がわき上がり、皆で心と体の動きを合わせることの楽しさや素晴らしさを実感し、練習を通じて互いを気遣うこと、思いやることの大切さを学んだのではないかと感じました。

残念ながら、運動会の動画をホームページに掲載することはできませんので、保護者の皆様には、保護者会や学校公開の折に鑑賞していただけるよう企画します。

1年生マスゲーム 令和の「R」



さて、大きな行事が終わると、また日常の学校生活が戻ってきます。

その後の進路説明会や高校の先生を招いた講演会、放課後の補充学習教室の開講、そして期末考査・・・生徒は「教科学習モード」に上手に切り替えることができるでしょうか？

また、運動会の練習や本番を通じて学んだ「互いを気遣う、思いやる気持ち」を実践できているでしょうか？

頭ではわかっている、行動に移すのはなかなか難しいことです。

6月は「ふれあい月間」です。毎年アンケートを行い、生徒が人間関係で悩んでいることや嫌な思いをしていることはないか調査し、解決策を見いだす手助けをしたり、いじめなどの予防や解消に向けて重点的に取り組んでいます。

昨今は、中学生のスマートフォンや携帯電話の所持率が増え、SNSを介したいじめが課題となっています。これらの機器は、便利な反面、大人の目にはいじめが見えにくいことから未然防止、つまり生徒一人一人が良識ある使い方ができるようになることが大切です。その方策のひとつとして本校では、「相手がどう受け止めるかを想像する力」、「相手の身になって行動する力」の伸張に努めています。

昨年度は、生徒会を中心に、思いやりの言葉を連ねた「思いやりの木」を作りました。今年度は、思いやりのあるSNSの使い方ができるようにと「思いやりの翼」作製を通して全校で取り組んでいきます。言葉や頭での理解に留まらず、「思いやり」を実践できる生徒に育ててほしいと切に願っています。

運動会を終えて

保健体育科 近藤美咲

今年度も、無事に運動会を終えることができました。運動会の内容は昨年までと大きな変化はないのですが、今年の運動会は昨年にも増して充実していたと思います。各学年の入場や退場の集団行動をはじめとして、全校生徒で行う集団行動も生徒1人1人が意欲的に取り組んでくれました。そもそも、集団行動とは何のために行うか知っていますか？その一番重要な目的は「安全確保」です。集団で声を合わせてキビキビと行動することは、全員の意識を同じ方向に向けることや効率的に動くことに繋がります。また、緊張感をもつことで、教員の指示を把握し正しく実行することができます。それが何よりの安全確保に繋がる訳です。このようなことを日々意識して授業を進めることができたので、その成果が運動会でも発揮されていたと思います。

また、様々な係を生徒が担当していたのですが、どの場面でも本当に一生懸命働く姿が印象的でした。競技の中ではドラマが生まれ、見ている人を感動させる場面も数多くありました。練習の時に特に印象的だったのは、違うクラスの人とも助け合いながら取り組む姿勢が見られたことです。「勝敗だけにこだわらず、みんなで1つの行事を成功させよう。」という雰囲気こんなにも温かい行事を作り上げるということを実感した今年度の運動会でした。どんな行事でも感じるのですが、何かに「必死に取り組む姿」は見ている人を自然と感動させます。今年もたくさんの感動をありがとうと生徒に言いたいです。

最後に、今年度の選手宣誓の言葉がとても気に入ったので、紹介します。

『私たちは今日までたくさんの汗を流してきました。今から優勝目指しての戦いが始まります。ライバルでありながら共に成長してきた仲間たち。深めた絆を存分に発揮して、正々堂々戦い抜きます。私たちのハツラツとした演技を通して、感動、勇気を与え、笑顔あふれる運動会にすることを誓います。』

まさに、この通りの運動会だったと思います！

保護者・地域の皆様には、不審者対策や受付のスムーズ化を図るため、今年度から学年カラー別の入場プレートと「来校者証」をお配りしましたが、この色を目印に、譲り合っただの見学をして頂きありがとうございました。また、朝早くからお手伝い頂いた役員の方々ありがとうございました。



歯みがき巡回指導（6月10日6校時）

主任養護教諭 篠原 智美

練馬区の学校保健事業の一環として、二年に一度保健所の歯科衛生士と学校歯科医による歯みがき巡回指導を実施しています。今年度は本校も対象となり、関保健相談所の歯科衛生士 小林さんと本校学校歯科医 羅先生に来校していただき実施しました。

「歯と口の健康を考えよう」というテーマでお話していただきました。クイズを交えながら、むし歯や歯肉炎の予防や歯みがきのポイント、歯をケガした時の応急処置などについてお話していただきました。歯に関するクイズが4問、お話の途中で出てきましたが多くの生徒がクイズに参加し盛り上がっていました。

お話の後は、歯肉炎になっていないか手鏡を使って確認する時間もありました。歯肉が赤くなっていないか、腫れていないかを自分の目で確認することができました。最後の質疑応答でも積極的に生徒から手が挙がり、羅先生に丁寧に質問に答えていただきました。

歯ブラシの握り方や磨き方など実践的なお話も聞くことができました。ぜひ普段の歯みがきで実践して、自分の口と歯を健康に保てるようにしてほしいと思います。

地域未来塾

主任教諭 阿部可奈子

6月5日、令和元年度の地域未来塾が始まりました。昨年度まで「ステップアップ教室」として実施していた、放課後の時間を活用した学習活動を、今年度からは名称を新たにしました。今年度は「数学の学び直し」に重点をおいた指導を行っています。小学校の算数からスモールステップの方式で学び直しを始め、中学校1年生までの数学の内容の確実な定着をはかることをねらいとしています。地域未来塾が用意した50ステップの教材をすべて学習し終えたら、個々の学力に応じた教材（数学・英語）を自学自習の方式で、講師の指導を受けながら進めていきます。

この地域未来塾では、学校支援コーディネーターの高山 秀紀さん、地域未来塾学習支援員の保知 巡さん・三住 悦己さんが講師として指導にあたってくださいます。

先日の開講式では、生徒一人ひとりに地域未来塾の参加証が配られ、目的やルールが説明された後、早速学習がスタートしました。生徒たちは、1ステップ（プリント1枚）終わるたびに、講師の先生に「OK、次のステップに進んでいいよ」、「ここをもう一回やりなおしてごらん」とチェックをしてもらいながら、学習を進めていました。部活動の時間を気にしながらも「もう1ステップやってから部活に行く！」と意欲的な姿もたくさん見られました。講師の先生方にお世話になることに感謝すると共に、この活動を通して、一人でも多くの生徒に学習習慣の確立や基礎学力が定着することを願っています。

学校における平日夜間および休日の電話対応について

今月 8 日(土)に配布しました「練馬区立幼稚園、小・中学校および小中一貫教育校における平日夜間および休日の電話対応について」(1 練教教指第 891 号)に基づき、学校の電話は次の時間帯に応答メッセージ機能に切り替わります。

【応答メッセージ機能に切り替わる時間】

- ・ 平日午後 7 時から翌朝午前 7 時 45 分まで
- ・ 日祝日および授業を行わない土曜日 (終日)
- ・ 授業のある土曜日午後 4 時 45 分から

※なお、上記の時間以外にも、会議や研修、出張等により電話に出ることができない時間もあります。

保護者および地域の皆様におかれましては、ご不便をおかけすることがあるかと存じますが、「働き方改革」の一つの取組として、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

生徒の活動の記録

陸上部 第 70 回東京都中学校地域別陸上競技大会(5/18, 19)

男子西部 2 年 100m 第 7 位 12 秒 24 星野 大和

女子西部 2 年 100m 第 2 位 13 秒 13 川崎 啓子

第 8 位 13 秒 45 宮川 琴音

女子西部共通 200m 第 4 位 26 秒 78 川崎 啓子

第 5 位 26 秒 79 上田 彩月

男子西部共通 800m 第 7 位 2 分 07 秒 08 中村 悠人

女子西部共通 4x100mR 第 4 位 51 秒 93

西田 麻沙 宮川 琴音 渡邊 凜織 上田 彩月

男子西部共通走幅跳 第 1 位 6m25 佐藤 匠真

男子西部共通走高跳 第 1 位 1m85 佐藤 虹太郎

女子西部共通走幅跳 第 8 位 4m73 宮川 琴音

入賞者は 7 月の
都大会出場が決定
しました。